

感謝の言葉

神奈川大学外国語研究センターは、このセンターの早創期に貢献された二人の所員に、深く感謝を表明します。

去る二月一日に逝去された故荒井義明教授は、昭和四十八年四月に当時、本学の外国語学部のもとに設置されていた語学研究室と語学視聴覚教室の主任に就任され、昭和四十九年に両者を統合する外国語研究センターの創設のために尽力され、四十九年度と五十年年度の二年間主任として今日の研究教育体制の基礎を確立されました。ここに荒井教授の功績をたたえ、哀悼の意を表すとともにご冥福を祈ります。

また昭和五十四年月から二年間主任をつとめられた小沢勇教授は、今年度末をもって定年を迎えられることになり、四月から短期大学部の特認教授としてご活躍になります。小沢主任は荒井主任の後を継いで、当センターの充実と発展のために寄与されました。

ここに当センターの所員一同を代表して、お二人の方々に心から感謝いたします。

昭和 62 年 2 月 18 日

外国語研究センター所長 犬飼 政 一